

ワーキンググループの設置等について【協議事項】

1. 補装具告示改正に向けた調査について

今回の調査については、下記のとおり、従来の調査方法を踏襲して実施する。

- ① 義肢・装具・座位保持装置については、補装具製作者に対し素材費・人件費等の状況に関する調査を実施
- ② その他の補装具については、補装具販売業者に対し実勢価格に関する調査を実施

これらの調査結果を踏まえ、告示の改正の必要性等について検討を行う。

なお、今年度調査は、平成 22 年度に告示改正を行った際の調査票（項目）を基本とし、平成 22 年度の告示改正内容を踏まえた調査票となるよう、必要に応じて内容を見直すこととする。

2. ワーキンググループの設置について

ワーキンググループ（以下「WG」という。）の設置については、平成 22 年度告示改正を検討した際の WG を踏襲し、補装具の種目ごとに 5 つのグループを設置する。

また、今年度は、完成用部品の新規申請及び価格変更申請時における価格の構成要素等に関する検討を行うため、新たに完成用部品に係る WG を設置する。

各ワーキンググループにおける調査方針等について

グループ	対象種目	ポイント
【WG1】	義肢・装具・ 座位保持装置	平成 22 年度告示改正を踏まえ、現状について調査を実施
【WG2】	車椅子・電動車椅子	平成 22 年度告示改正を踏まえ、現状について調査を実施 ※ 修理基準が大きく見直されたことに留意
【WG3】	補聴器	平成 22 年度告示改正を踏まえ、現状について調査を実施 ※ 前回改正に反映されなかったデジタル化への対応に留意
【WG4】	盲人安全つえ、 義眼、眼鏡	平成 22 年度告示改正を踏まえ、現状について調査を実施 ※ 前回改正に反映されなかった義眼に留意
【WG5】	重度障害者用意思 伝達装置	平成 22 年度告示改正を踏まえ、現状について調査を実施
【WGO】	完成用部品	完成用部品の新規申請及び価格変更申請時における価格の構成要素等に関する検討

平成 24 年 4 月までのスケジュール（案）

時 期	内 容	
	ワーキンググループ	完成用部品
7 月末	補装具評価検討会開催	
8 月	ワーキンググループの開始	
9 月	調査票等の確定・発送・回収 補装具評価検討会（報告等）	価格構成要素等の検討
10 月	分析	補装具評価検討会（原案の検討） 募集開始
11 月	検討・原案作成	審査開始
12 月	補装具評価検討会 （改定原案の審議）	
1 月	改定案とりまとめ（修正等） 補装具評価検討会 （改定案の決定）	
2 月	パブリックコメント	最終案策定 補装具評価検討会 （最終案の審議・決定）
3 月	告示等の改正	通知改正
4 月	施行（適用）	

ワーキンググループメンバー（案）

	H23 メンバー	
	メンバー	助言者
WG1 (義肢・装具・座位保持)	○ 森本 相川 (国リハ) 山崎(国リハ)	日本義肢協会 (北氏) 日本車いすシーティング協会 (山中氏) 国リハ学院教官 (高嶋氏)
WG2 (車いす・歩行器・杖・座位保持椅子)	○ 樫本 飯島 (横リハ)	脊損連 (大濱氏) 日本義肢協会 (森田氏) 日本車いすシーティング協会 (松野氏) 電動車いす安全普及協会 (人選中)
WG3 (補聴器)	○ 田内 土井 (さいたま市更相)	全難聴 (佐野氏) 補聴器販売店協会 (人選中) 補聴器工業協会 (井村氏)
WG4 (義眼・眼鏡・杖)	○ 坂本 仲泊	日本盲人会連合 (人選中) 眼鏡業界関係者 (調整中) (追加を検討中)
WG5 (意思伝)	○ 中邑 井村	ALS 協会 (徳永氏) (追加を検討中)

WGO (完成用部品の価格)	○ 山内 伊藤 井上 (国リハ) 我澤 (国リハ)	日本義肢協会 (稲垣氏) 日本福祉用具・生活支援用具協会(清水氏) 輸入部品取扱い業者 (羽佐田氏・パシフィックサプライ) 国内製作者(伊藤氏・今仙技術研究所) 有識者 (医政局経済課調整中)
-------------------	------------------------------------	---